

平成20年10月3日

国土交通省自動車交通局
技術安全部審査課長殿いすゞ自動車株式会社
品質保証部長小型貨物車；かじ取装置ユニバーサルジョイント
リコール措置部品に異品混入問題の対応について

日頃は、格別なご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年5月29日に届出したリコール（届出番号2117）の対応において、下記の如く、措置用部品の梱包箱の表示と内容品に不一致したものが発見され、確認を行った結果、他にも同様の問題が起きているおそれがあることが判りました。

誤った部品を装着した場合、締結が不十分な状態となり、ユニバーサルジョイントが損傷して、かじ取り操作ができなくなる可能性があることから急ぎ対応を行いたく、ご報告申し上げます。

記

1. 不具合の内容

対象のリコール ; 届出番号 2117

不具合の対象部品 ; ユニバーサルジョイント

措置内容として、「全車両、当該連結部を点検し、ずれている場合は、ユニバーサルジョイント

及びボルトを新品に交換し、正しく締め付ける。」としていた交換用ユニバーサルジョイント

不具合の内容 ; ユニバーサルジョイントは、車両年式により2種類(A,B)のものが有ります。

措置用部品として用意したユニバーサルジョイントは1個ずつ梱包箱に入れられていますが、梱包箱の表示と内容品が異なっていた。(逆になっていた)

在庫品確認結果 ; A部品の梱包箱にB部品が入っていたもの ; 3967個 中 42個

B部品の梱包箱にA部品が入っていたもの ; 2993個 中 4個

2. 不具合発生状況

4件。(ユニバーサルジョイントを異なる部品を使用していたもの)

A部品を使用すべき車両に対して、B部品が組み込まれたため、締結部に隙間が生じる。

3件については、箱と部品の照合できておりませんが、本不具合内容が原因と考えられます。

備考 ; B部品を使用すべき車両で、A部品が組み込まれたという不具合の情報はありません。

(この場合、組付けができません)

3. 対応について

- (1) 措置の実施に際して、ユニバーサルジョイントを交換する場合、適切な部品であるかを確認した上で、作業を実施する。

平成20年10月2日販売会社に通知済み。

- (2) 措置を実施し、ユニバーサルジョイントを交換した車両

全車両、販売会社を通じ、当該ユーザーに電話で連絡し、本件不具合の内容を説明し、ユニバーサルジョイントを適正な部品(新品)に交換する。**平成20年10月4日より実施予定。**

対象の台数を確認中です。(約5000台 ; OEM供給車両を含む)

4. 本件問い合わせ先

お客様相談センター

TEL 0120-119-113

以上